

令和4年第1回臨時大分市教育委員会会議録

1 日時 令和4年3月3日（木） 午後4時30分から午後4時50分まで

2 場所 大分市役所第2庁舎6階 教育委員室

3 出席者 教育長 佐藤 光好
三番委員 古城 一
四番委員 上杉 美穂子
五番委員 古城 和敬

4 出席事務局職員

教育部長 末松 広之
教育部教育監 高橋 芳江
教育部審議監兼文化財課長
坪根 伸也
教育部次長 桑野 徹
学校教育課長 野田 秀一

5 書記

教育総務課参事補 黒木 眞由美 教育総務課参事補 三嶋 みどり
教育総務課主査 園田 哲也

6 傍聴人 なし

7 議題

(1) 議案

(教議第22号) 県費負担教職員の人事異動の内申について

8 会議の概要

教育長 ただいまより、令和4年第1回臨時大分市教育委員会を開会いたします。
(午後4時30分 開会)

教育長 なお、本日は、岡野委員、廣津留委員が欠席しておりますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により、構成員の過半数が出席しているので会議は成立していることを宣告いたします。

教育長 本日の署名委員を三番委員、四番委員にお願いします。

教育長 それでは、ただいまより議案審議に入りますが、教議第22号「県費負担教職員の人事異動の内申について」につきましては、人事に関する案件であることから、審議を秘密会とすることを発議いたしま

す。賛成の方は挙手をお願いします。

全委員

(挙手)

教育長

全委員賛成と認め、教議第22号の議案審議は秘密会とします。

教育長

それでは、教議第22号「県費負担教職員の人事異動の内申について」を議題といたします。

教育部次長

議案説明の前に議案書をお配りしたいのですがよろしいでしょうか。

教育長

どうぞ。

教育長

令和4年3月末県費負担教職員人事異動作業が終了いたしましたので、その概要について述べさせていただきます。

昨年、決定をいただきました「大分市定期人事異動方針」のとおり、本市教育振興の立場に立ち、広域人事の推進と適材適所を基本に、校長の意見具申を尊重した市内異動を行ったところであります。

私から、今回の定期異動の特色について、管理職人事を中心に述べさせていただきます。

管理職の人事異動につきましては、小中、義務教育学校、併せて23名の実退職者がございました。市民から信頼される学校づくりを推進する意欲と的確な判断力、そして力強いリーダーシップを持つ校長、教頭の配置に努めたところでございます。

まず、校長につきましては、小学校5名、中学校2名の計7名を新たに登用いたしました。7名のうち、4名が行政等から、3名が市内教頭からの採用であります。

なお、市外等からの転入につきましては12名でございます。いずれも大分市在住であり、市外等において校長等としての勤務実績がある者でございます。

また、昨年度から導入された再任用校長の制度により、継続を含め、小学校2名、中学校3名の計5名が校長として再任用されます。

次に教頭につきましては、小学校15名、中学校6名、義務教育学校1名の計22名を昇任いたしました。そのうち、5名が行政から、16名が市内の主幹教諭、指導教諭、教諭から、1名が市外の教諭か

らの昇任であります。

なお、市外へ転出した管理職は昇任者も含めて15名であり、これらの異動により、市外との交流人事が一層、進んだものと考えております。

また、今回、昇任した22名の新任教頭のうち、50歳以下の者が7名含まれており、若手登用の抜擢人事も着実に推進されたと考えております。7名につきましては、47歳1名、48歳4名、49歳1名、50歳1名となっております。

適材適所の管理職配置につきましては、これまでも最優先事項として取り組んでまいりましたが、本市教育の実情に精通した人材と、市外での豊富な経験を有する清新な人材とを融合させることにより、特色ある学校づくりの継承、学校経営の更なる活性化を両立できるよう努めてまいったところでございます。

以上でございます。

学校教育課長

教議第22号「県費負担教職員の人事異動の内申について」ご説明申し上げます。

本案は、令和4年3月末の教職員の人事異動にかかる作業が終了いたしましたので、本委員会で、ご決定をいただこうとするものでございます。

市内小中学校に在籍する県費負担教職員の異動につきましては、本委員会でご決定いただいた「大分市定期人事異動方針」に基づき、作業を進めてまいりました。

今回の異動の概略をご説明いたします。

異動総数は、退職、採用、市外転出を含む転任、再任用等を合わせ、小学校643名、中学校336名、義務教育学校39名の計1018名となっております。

異動別の内訳を見ますと、まず、退職につきましては、定年及び希望退職を合わせた退職者の総数は、小学校で68名、中学校38名、義務教育学校7名の合計113名でございます。

次に、採用のうち、新規採用者につきましては、小学校教諭92

名、中学校教諭31名、養護教諭8名、栄養教諭2名、学校事務職員3名の合計136名でございます。

次に、転任のうち、市町村間での人事交流につきましては、市外への転出者は、管理職を含め177名、市外からの転入者は、管理職を含め173名でございます。

これは、県教委の「新採用からおおむね10年以内に3つ以上の人事地域を勤務すること」、また、「地域間での交流を積極的に推進すること」などの方針に沿って実施されたものでございます。

また、その他、行政、県立学校、大分大学教育学部附属幼稚園・小学校・中学校との交流では、転出29名、転入33名の人事交流をいたしました。

以上のことにつきまして、本委員会でご決定いただき、ご決定の上は、県教育委員会に内申を行おうとするものでございます。

以上でございます。

教育長

ご質問などありませんか。

委員

定年退職の方と希望退職の方がいますが、それぞれ何名でしょうか。人数は多いのでしょうか。働き方改革と関連があるのか疑問に思いました。

学校教育課長

希望退職は、家庭の事情や本人の身体的な事由等がございまして、傾向といったものはございません。多い年もございますし、少ない年もございます。また、結婚等により他の都道府県で教職に就くため、希望退職することもございます。

委員

人数は、わからないのでしょうか。

学校教育課長

今年度の人数につきましては、今、資料がございません。

委員

大分市教育委員会から転出される方は何名ですか。

学校教育課長

昨年11月に豊府小学校校長として転出をしております1名を含め、今年度は11名の転出でございます。また、大分市教育委員会への転入者は10名でございます。

委員

新採用者が小学校、中学校とも数多くいらっしゃいますが、平均年齢はわかりますか。

学校教育課長 まだ、平均年齢は算出できておりませんが、一昨年から、59歳まで採用試験を受けることができるようになっておりますので、年々平均年齢は高まっているところでございます。本市におきましても、昨年度、今年度と、50代の新規採用教員が配置されているところでございます。

委員 新卒で入られた方の割合はわかりますか。

学校教育課長 今、集計したものがございませませんが、傾向といたしましては、4年制大学ではなく、短期大学の学生が増えているところでございます。

委員 昨年度は、50代の採用の方が数名ということによいでしょうか。

学校教育課長 正確な数値は、改めてご説明いたします。

教育長 その他ご質問などはありませんか。

全委員 (なしとの声)

教育長 それでは採決いたします。教議第22号は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

全委員 (異議なしとの声)

教育長 ご異議なしと認め、本案は原案のとおり決定されました。

教育部次長 それでは、議案書を回収させていただきます。

教育長 他に何かございませんか。

教育部次長 今後の教育委員会の日程等につきまして連絡をいたします。

3月は、第2回臨時教育委員会を3月23日水曜日午前8時20分から、第3回定例教育委員会を3月30日水曜日午後3時から開催いたします。

以上でございます。

全委員 (了承)

教育長 他に何かございませんか。

全委員 (なしとの声)

教育長 これをもちまして、本日の会議を閉会いたします。

(午後4時50分 閉会)